

体育施設等指定管理者ミズノグループの評価 【選定委員総括表】

目的：地域住民の心身の健全な発達及び体育・レクリエーションの普及振興を図る

評価日：平成30年7月6日

評価対象期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

評価項目		評価視点	評点
1	施設の活性化	・利用者に対して、有益で魅力的な施設等の提供（岐南町総合体育館・岐南町町民運動場・岐南町スポーツセンター・岐南町防災コミュニティーセンター） ①施設の利便性を向上させる取組みが、適切にされているか ②利用促進を図る広報・ホームページ・チラシ等、幅広いPRがされているか	3.8点
		・創意工夫に満ちた新規自主事業の実施がされているか ・利用者のニーズにあった幅広い自主事業が、実施されているか	4.0点
2	サービス向上	・窓口・電話等での接遇・案内等は、適正に行われているか ・利用者からの意見を、可能な範囲で施設の管理運営に反映させているか ・利用者に適切なサービス提供をしうる職員の配置・勤務体制となっているか ・個人情報保護について、法令遵守されているか	3.4点
3	施設設備の点検・維持管理	・施設設備を安全に運用するための点検・維持管理は、適正に行われているか	3.2点
4	管理経費の効率化	・施設管理に係る経費の効率化が図られているか	3.2点
合 計 点			17.6点
総 括 評 価（優：20.0点～17.1点 良：17.0点～12.1点 可：12.0点～7.1点 不可：7.0点～5.0点）			優

選定委員会の意見

○スポーツセンターのテニスコートA面の一部の人工芝張替えにより生じている段差は、安全管理上重大な問題である。その補修・修繕は費用負担の点から行政側の問題ともいえるが、可及的速やかに進める必要がある。行政と協力して補修・修繕を急ぐとともに、行政との連絡・連携体制をより一層緊密にしてほしい。

○総合体育館の利用者、自主事業参加者は増加しており、率直に評価できる。それらが減少している一部施設については、自主事業（イベント開催を含む）の工夫等により改善を図ってほしい。

○指定管理経費の合理化・削減については限界に達していると思われ、現時点で収支の黒字化を図っていく活路は、自主事業収益のさらなる改善に見出すしかないと考えられる。自主事業のメニュー自体は既に充実しているとみられるため、事業の量的拡大を図るよりは、個々の事業をいかに収益に結び付けられるかという観点から見直し、自主事業のリニューアルを進めてほしい。

○指定管理者受託後6年目になるが「体育施設等の指定管理者はミズノグループ」という認識が住民に根付いていないように思える。例えば自治会の回覧板に自主事業のチラシを入れることは広告効果が大きく、かつすぐに実施できることではないか。また各種スポーツ大会等に参加するスポーツチームのユニホームの受注を図るなど、自治会と連携して物販促進活動を進めることが収益状況の改善の一助になるのでは。

○全体体育施設が月曜日休館となっているが、月曜日は平日でもっとも集客が見込める曜日である。休館日を変えることで集客及び売り上げを改善できるのではないかと検討してほしい。

○平成25年度からの指定管理業務受託以来、一度も収支の黒字化が果たされていない点に鑑み、一つの可能性として体育施設等利用料金の改定（値上げ）を検討すべきではないか。また利用料収入のうち約4分の1が減免対象となっている現状からすれば、減免規定の見直しも検討されるべきである。利用者のアカウントビリティ向上の観点も踏まえ、行政と相談してほしい。

○体育施設等の環境保全業務について、運営コストの増加につながるためか消極的な姿勢が見受けられるのではないかと。再考してほしい。